

令和6年度 学校経営方針

江戸川区立小岩第五中学校
校長 前本 大智

日本国憲法の精神及び教育基本法の目的、東京都・江戸川区の教育目標並びに、江戸川区教育大綱の目指す、「誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会」を目指して、生涯にわたって主体的に学ぶことのできる学習の基礎を養うこと、生命尊重の心を育て、国際社会や地域社会に広く貢献できる生徒の育成を願い、次の目標を設定する。

1 教育目標

- ・健やかな人
- ・知性に富む人
- ・心豊かな人
- ・勤労を尊ぶ人

2 学校経営の理念

- (1) 生徒の自己肯定感や自己有能感を高められる教育活動を推進する。
 - ① 主体的な教育活動を通して、生徒の達成感や充実感を実感させる。
 - ② 異学年の生徒やいろいろな大人（地域の人など）との交流活動を通して、個性や特性を見出し、それらをお互いに認め合うことによって、自己肯定感を高めさせる。
 - ③ あらゆる場面で、生徒一人一人の努力や成長の様子を把握するように努め、生徒を直接、褒めたり励ましたりすることによって、自己有能感を高めるとともに、さらなる向上へのモチベーションを高めさせる。
- (2) 保護者や地域に信頼される学校をつくる。
 - ① 学校教育は「教職員への信頼」の土台のもとに成り立つことをしっかりと意識する。
 - ② 教職員は社会人としての礼儀・マナーをしっかりと身につけるとともに、高い規範意識ももち、服務事故を絶対に起こさない精神を養う。
 - ③ 保護者や地域からの要望や意見に対して、まず傾聴し真摯に受け止め、その上で学校にできることについては、子供たちのために誠心誠意努力していく。

3 基本的な考え方

- (1) 学校の教育活動や校務遂行のすべては、生徒のために通じるものであり、教育目標の達成を図る。
- (2) 法令や学習指導要領等に基づいて学校経営・学校教育を組織的・計画的に行う。
- (3) 「共生」・「共有」・「協働」を経営の基本3要素として、教育活動を行う。
 - ① 共生
 - 生徒・保護者・地域に信頼され、誇れる学校づくりを行う。
 - 共に切磋琢磨して個人・集団・組織を成長させる。
 - ② 共有
 - 日常的な情報の全職員での共有化と、透明性を確保する。（報・連・相の徹底）
 - 教職員相互の意見交換による改善を常態化する。
 - ③ 協働
 - 集団や組織として、生徒・教職員共に活動する。
 - 同じ目的意識をもち、所属意識を高める。

4 基本方針

- (1) 目指す学校像
 - ① 生徒一人一人の基礎・基本の定着を図り、確かな学力を身につけさせ、伸ばすことができる学校
 - ② 生徒一人一人が生き生きと活動でき、安全・安心な学校
 - ③ 豊かな人間性や社会性を育む学校
 - ④ 生徒一人一人の個性や特性をお互いに認め合うとともに、規律と活力のある学校

(2) 目指す生徒像

- ① 多様で変化に富んだ時代に希望をもって主体的・意欲的に生き、将来を切り拓くことができる生徒
- ② 小岩第五中学校で学ぶことに誇りをもち、向上心と自立心の旺盛な生徒
- ③ 目標を達成するために、あきらめずに粘り強く主体的に取り組む生徒
- ④ たくましく豊かな心や自分だけでなく他に対して思いやりをもてる生徒
- ⑤ 基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに健康な生徒
 - 自らが成長する・・・目標をもち、自分の良さを知り、自らの資質能力を伸ばす生徒
 - 共に成長する・・・互いが切磋琢磨し、個人・集団として高まろうとする生徒
 - 心を磨く・・・人を思いやり、いじめがなく、お互いを認め合う生徒
 - 形を磨く・・・岩五生らしい服装、態度、あいさつ、姿勢、行動をする生徒
 - 地域に貢献する・・・地域の一員として、地域活動に積極的に参加する生徒

(3) 目指す教師像

- ① 生徒一人一人の成長やそれを支える教育活動に最大の努力を惜しまない教師
- ② 社会人、教育公務員としての法令・サービスを遵守し、使命感と自己研鑽に励む教師
- ③ 分かる授業、興味・関心や学習意欲を喚起する授業、学びに向かう力を育てることができる教師
- ④ 教師として品性をもち、人権に配慮した言動と指導ができる教師
- ⑤ 組織の一員として、組織的かつ責任ある職務の遂行ができる教師

5 重要課題

- (1) 職務の適正な進行管理と確実な遂行
- (2) O J Tの効果的な推進
- (3) 「岩五リズム」の浸透による生活習慣の定着と学習習慣の向上
- (4) 特別な支援を要する生徒への校内体制と特別支援教育の充実
- (5) 組織力向上と危機管理体制の充実
- (6) 人権教育の徹底、いじめのないよりよい人間関係の構築
 - いじめ即時解決（解消率100%を目指す。早期解決。未然防止。）
- (7) 課題解決に向けた分掌組織の活動と提案
 - 各教員の意識を高め、課題と改善策を見いだしていく。
- (8) 学校便り・ホームページの充実による生きた学校情報の積極的な提供
 - アクセス数の増加を目標とする。
- (9) 道徳教育の充実
 - 全体計画に基づく計画的な実施（年間35時間以上の実施）
- (10) 現行行事を踏まえた効果的な実施・改善
 - 目的の明確化、効率のよい準備、異学年とのつながりを配慮した実施、安心・安全を徹底した上で、平常の実施形態を目指した工夫・改善
- (11) ボランティアマインドを向上させ、郷土・地域に貢献できる生徒の育成

6 今年度の重点項目

(1) 特別支援教育の充実

- ① 特別な支援が必要な生徒に対して、適切な指導を推進するために、SSWとSCとのケース会議などを活用し、関係機関と連携し、専門的な助言を受ける機会を設定していく。
- ② 特別支援教育コーディネーターを中心に個別支援計画を作成し、個に応じた支援と指導を行う。
- ③ 学習面において、特別な支援を要する生徒に対して、校内別室指導員等による支援を行う。
- ④ 特別支援学級との交流活動に積極的に取り組む。

(2) 確かな学力の定着

- ① 基礎・基本の定着の向上を図り、主体的で深い学びの実現を目指す授業の確立。
- ② 本科の授業、放課後自習「build-up time」や外部人材活用の放課後英・数補習教室、学習コンテンツの活用等を通して、適切な課題設定により、学習意欲の向上と基礎学力の定着を図る。